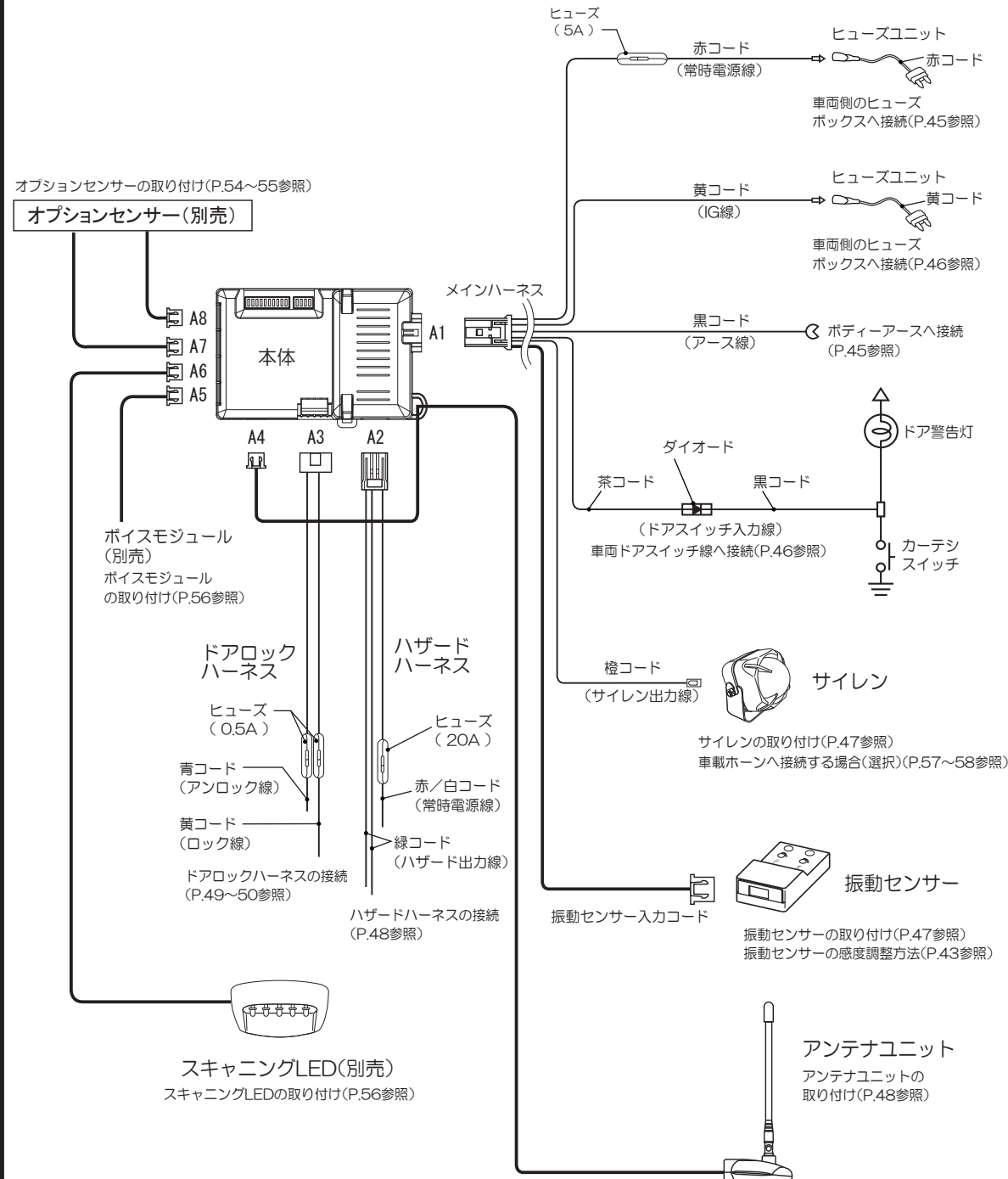


注意 エンジンスターターキット(別売)を接続する場合、本品付属のメインハーネスは使用しません。
エンジンスターターキット付属のハーネスを使用して下さい。



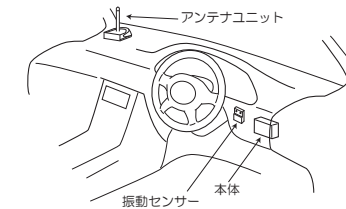
取り付け前の事前準備

- パーキングブレーキをしっかりと引き、シフトレバーをPレンジの位置にしてください。
- エンジンキーは、必ず抜いて下さい。
カードキーなどによるエンジン始動システム装着車は、不用意にエンジンがかからないようにして下さい。
- リモコンへ電池を挿入して下さい。詳細は、16ページの「電池の挿入」を確認して下さい。
- 取り付け工具を用意して下さい。
プラスドライバー・プライヤー・ニッパー・スパナ・アナログテスターなど。(工具は同梱されていません。)
- 必要に応じ、カバー類を取り外して下さい。

取り付けレイアウトイメージ

[車室内]

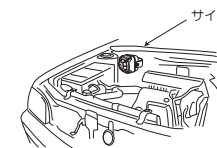
重要 本体および振動センサーは、容易に目につくにくい場所へ取り付けして下さい。



※車によって取り付け位置は多少異なります。本図を参考に決定して下さい。

[エンジンルーム内]

重要 下記の場所へは、絶対にサイレンを取り付けないで下さい。
・エンジン本体・ラジエター・エキゾーストマニホールド(排気系)付近。
・駆動部付近(ファンなど)。
・直接水がかからない場所。(グリルまわりなどは避ける。)

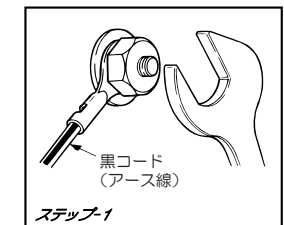


メインハーネスの配線

ステップ 1 黒コード(アース線)を接続します。

注意 塗装されている金属部分や車の振動などで緩んでしまう場所に接続しないで下さい。
動作不良の原因となります。

メインハーネスの黒コードを車体の金属部分へ接続します。



ステップ 2 赤コード(常時電源線)を接続します。

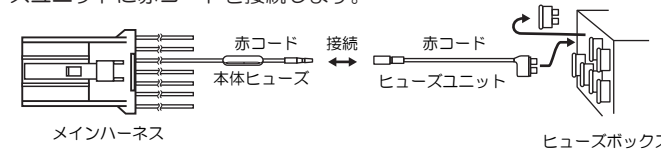
注意 赤コード(常時電源線)にハザードハーネスの赤/白コード(常時電源線)を分岐接続しないで下さい。車両のヒューズ切れや本体の動作不良の原因となります。

付属のヒューズユニット(赤コード)またはエレクトロタップを使用し、赤コードを接続します。

● ヒューズユニット(赤コード)による接続方法

注意 ヒューズユニットは、必ず車両側の青色(同じ定格電流)ヒューズと差し替えて下さい。
色の違うヒューズと差し替えた場合、ヒューズが切れたり、車両側に悪影響を与える恐れがあります。

- ① 車両側のヒューズボックスの中で常時+12Vを示す青色ヒューズをテスターで探します。
- ② 付属のヒューズユニット(赤コード)の中から①で探したヒューズと同じ大きさのものをを選び、差し替えます。
- ③ ヒューズユニットに赤コードを接続します。



● エレクトロタップによる接続方法(車室内に該当する青色ヒューズがない場合)

注意 配線先によっては電源容量不足により本体の動作が不安定になる場合があります。その場合は、配線先を変更して下さい。
エレクトロタップで配線する際は、エレクトロタップのカバーを確実にロックして下さい。
エレクトロタップの金属部分が車体の金属部分に接触するとショートし、火災・故障の原因となります。
テーピングすることをお奨めします。

- ① 車両側の配線で常時+12Vを示すコードをテスターで探します。
- ② 赤コードのギボシ端子部を切断します。
- ③ 赤コードを①で探したコードにエレクトロタップで接続します。

メモ 赤コード接続用のエレクトロタップは、同梱されていません。エレクトロタップを別途用意して下さい。
エレクトロタップは、自動車用低電圧線(AVS線)0.5mm²サイズ適応品を使用して下さい。